

2019年3月28日

生体情報診断用機器「体動センサ」を開発

～ゴム製の圧電センサーとして世界初の実用化、モニター販売を開始～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、心拍や呼吸など生体情報（バイタルデータ）を同時に計測できる診断用機器「体動センサ」を開発、圧電ゴム技術を応用したバイタルセンシング機器として、世界で初めて実用化しました。医療分野のほか、介護や健康、スポーツなど幅広い分野での活用が期待されます。



住友理工が開発した「体動センサ」

一般医療機器（クラスⅠ）として2月28日に独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）に届出を行い、登録が完了しました。

体動センサは、センサデバイスと計測ユニットで構成。利用者の身体に触れる箇所に設置することで、心拍や呼吸、体動といったバイタルデータのほか、離着床を同時に計測することができます。収集したデータは計測ユニット経由でPCやスマホなどデジタル機器での管理・閲覧が可能で、遠隔でのモニタリングにも適しています。医療用途に加え、乳幼児の見守り、健康管理やアスリートのパフォーマンス向上を目指した睡眠モニタリング、ドライバー向け生体センシングなどへの応用が見込まれます。

本製品には、ヘルスケア分野の各製品に採用する当社のコア技術「SR センサ」技術を応用・開発した新素材（圧電ゴム）を搭載しました。従来の圧電素材にはない「ストレッチャブル性」が大きな特徴です。薄型で柔軟、伸縮性があるため、例えばベッドの上に敷くだけで生体センシングできる、人にやさしい計測機器です。

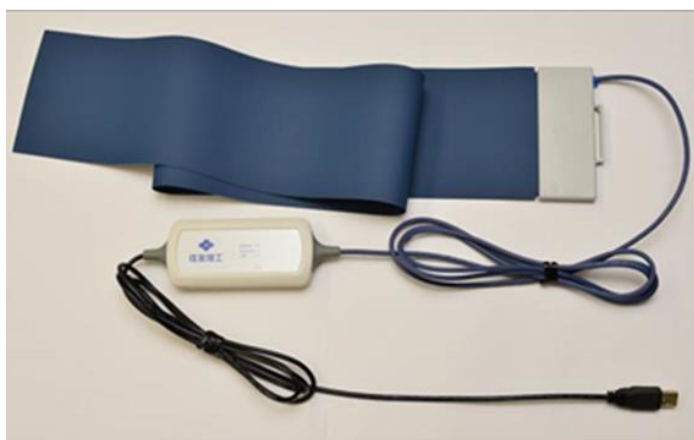
住友理工は、この体動センサについて、4月より研究開発者向けにモニター販売を開始します。医療機関や研究開発機関、介護施設や企業などへの提供を通じて、ヘルスケア分野での新たな商品開発に繋げ、人々の暮らしへのさらなる貢献を目指してまいります。

<製品概要>

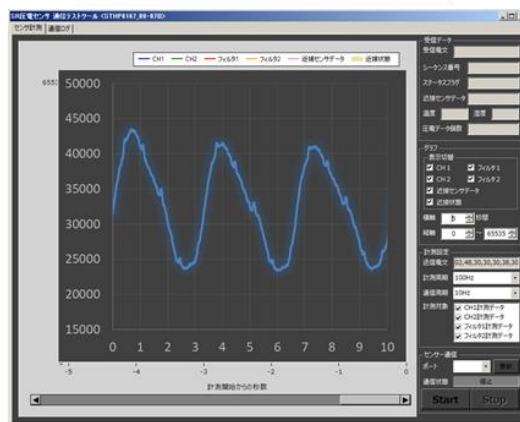
名称	体動センサ
本体価格	別途お問い合わせください
仕様	センサシートサイズ： 900 mm×120 mm 接続可能デバイス： PC (Windows 7/8/10) 通信規格： Bluetooth Low-energy / USB
アプリケーションソフト	リアルタイム波形表示、CSV 出力
医療機器分類	一般医療機器（クラス I）
製造販売届出番号	23B2X10022000002

<仕様>

研究開発にお使いいただけるよう、センサデバイス、計測ユニット、付属アプリケーションソフトをセットで販売いたします。



PC画面（付属アプリ）



データはCSVで保存可能

<ストレッチャブルイメージ>



従来の圧電技術のイメージと異なり、
柔軟に伸び縮みする新素材の圧電ゴム

<ご購入に関するお問い合わせ>

住友理工株式会社 健康介護事業室
(〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地)

0120-93-1910

受付時間： 9:00～17:00 (土・日・祝日・GW・夏期休暇・年末年始を除く)

Email : tri-health-contact@jp.sumitomoriko.com

<技術に関するお問い合わせ>

住友理工株式会社 IoT デバイスセンター
(〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地)

0568-77-8526

受付時間： 同上

Email： 同上

以 上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制音部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・快適・環境を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>